

# おおばっこ

E-mail 510131@sch.ibk.ed.jp

『いい顔 いい言葉 いい思い』

自らともに つながる

Tel 029-269-2103 Fax 029-269-2159



暦の上では、まもなく立春を迎えます。早咲きの紅梅、光の明るさに春の気配を感じますが、春とは名ばかりの寒さが続いています。

子供たちは、寒さに負けず、元気に楽しく遊んでいます。先日の降雪の際には、寒さで校庭が凍り、氷滑りを楽しんでいました。今は、縄跳びに挑戦している姿が多く見られます。それぞれの目標に向かって、何度も何度も繰り返し挑戦する姿には、頼もしさが感じられます。「あきらめない気持ち」を大切に育てていきたいと思います。今月もご協力よろしくお願ひいたします。



〈休み時間の様子〉

## 自己肯定感 ~「よさ」に目を向けて~

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。先日、行われた学校運営協議会（コミュニティ・スクール制度）においても、児童・保護者のアンケート結果をご覧いただきました。委員の皆様からは、特に、保護者の皆様からのご意見にも多くありました「あいさつ」「言葉づかい」へのご意見をいただきました。対策を進めるに当たっては、学校だけでなく、学校と家庭が連携して取り組めるようにしていくこと、また、その活動に地域としてもご協力いただけるとのお話をいただきました。互いの顔が分かり、声を掛け合うことができるようになります。その他、保護者からの要望に対するご意見もいただきました。学校の教育活動に対し、一定のプラス評価をいただき、温かい励ましのお言葉をいただくことができました。

本校では、「自己肯定感の育成」「主体的な学びの実現」「挑戦し続ける力の育成」を目指し、教育活動に取り組んでいます。これらの目標の達成のためには、保護者・地域の皆様の協力が不可欠です。健やかな子供たちの成長を共に願い、共に教育活動を進められよう、引き続き、ご協力を願ひいたします。

さて、学年末、今年1年間の自分自身の振り返りをする時期です。各学級では、今年1年間で「がんばったこと」「できるようになったこと」を振り返り、自分自身や友達の「よさ」を認める活動をしていきます。

先日、1年生の帰りの会で、話をする機会があり、子供たちに、『「50回、縄跳びができるようになったお友達」と「100回縄跳びができるようになったお友達」がいたら、「100回跳べるようになったお友達はすごくて、50回跳べるようになったお友達はすごくないのかな？」』と聞いてみました。すると、パッと手が上がり、すぐに「ちがうよ。お友達と比べるんじゃないなくて、前の自分と比べるんだよ。だから、どちらもすごいんだよ。」と、答えてくれました。うれしい気持ちになり、職員室でも話題にしました。

「できた。できない。」「勝った。負けた。」ではなく、自分自身が「がんばった。」と思えるかどうかに目を向け、自分のがんばりも友達のがんばりも認め合い、さらなる成長につながる挑戦ができる子供たちを育てていきたいと思っています。

子供たちに伝えたい、工藤直子さんの「ぼくは ぼく」という詩を紹介します。主人公は、真っ黒な羽を持つている「からす えいぞう」くんです。「あれがあつたらな。」「これができたらな。」と思うことは、だれにでもあるのではないでしょうか？

ときどき ぼくは

ほんの すこし

いろつきの はねが ほしいと おもったりする

ほんの すこし

いいこえで うたが うたえたらなど おもったりもする

でも これが ぼくだと とんでいく

でも、「からす えいぞう」くんは、「これが ぼく」と言っています。他者と比べて「自分はダメだ」と思ったり、失敗することを恐れて挑戦をあきらめたりするのではなく、それぞれのよいところに目を向け、自分自身のよさ、友達のよさを素直に認められる気持ちを大切に、自信を育てていきたいと思います。学校でも、「〇〇 えいぞう」という気付きを広げる取組を進めてまいります。ご家庭でも、お子様のよさや友達のよさに目を向け、認め合うことにつながるお声掛けをお願いします。



〈書き初め大会〉



〈縦割り班 大縄跳び〉



〈避難訓練(不審者対策)〉